

特集 **それって本当?
あなたの読み解く力が
試される**

内閣府は平成22年12月に第3次男女共同参画基本計画を策定しました。その中で、メディアにおける男女共同参画の推進としてメディア・リテラシーの向上を促しています。



メディアとは、情報を伝達する道具のこと、つまり、テレビ、ラジオ、新聞や雑誌、ポスター、インターネットなどを指します。これらのメディアから発信された情報は、私たちの生活に大きな影響を与えています。

例えば「今年のファッションはこれが流行ります。」と言われれば、多くの人がそれを信じて実際に取り入れた結果流行になった、ということになってしまいます。つまり、情報が発信され、それを私たちがあつかう現実であるかのように認識してしまうために、「現実」がつくられてしまうということです。

**男女共同参画を
メディア・リテラシーの視点で
研究されている諸橋泰樹さん
にお話を伺いました。**

**メディアは人の認識を
左右する**



profile

もろはし・たいき ●1956年生まれ。フェリス学院大学文学部コミュニケーション学科教授。専攻はマス・コミュニケーション学、女性学、社会学。自治体で男女共同参画関連の委員や会長を務める。日本マス・コミュニケーション学会、日本出版学会、日本女性学会、日本社会心理学会会員。

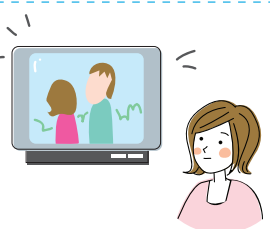
メディアの情報は、作り手の意図や受け手(視聴者や読者)のニーズ、時間や紙面の制約、広告主などの意向などの影響を受け、現実の一部分を伝えているに

**メディアの情報は
構成されたもの**

たらしさ“が人の意識に浸透しているために、ステレオタイプで表現した方が視聴者にとってわかりやすいのです。

メディア・リテラシーが鍵

メディアと上手につきあうためには、メディアが流している情報を漠然と見たり聞いたりするだけでなく、批判する姿勢が必要です。具体的に言えば、与えられた情報が本当かどうか、自分で考え、必要な情報を選択し、生活に活用していくこと、つまり、メディア・リテラシーが大切になってきます。



「構成された」情報が発信されているのです。メディアはつくられたものであるということ、私たちがいつも注意して見なければいけないと思います。

使した表現方法が用いられています。このように、流されている情報は、客観的でもなければ、事実でもありません。人の視点や手を経て

多様な生き方に向けて

国や時代が違えば、人の生き方も考え方も変わってきます。私たちは“女性だから、男性だから”ということに縛られる必要はありません。いろいろな人たちが支え合って社会ができてきているのですから、多様な生き方があっていいはず。私たちに求められているのは、メディアに左右されることなく、冷静な目でものごとを判断することではないでしょうか。



メディア・リテラシーとは受け取った情報を自ら解釈し、批判し、賢く活用する力のことです。そこには自分の考え

**人と人との
コミュニケーションを大切に**

メディア・リテラシーを身につけるためには、「人が違えばものの見方も違う」ということが大切でしょう。例えば、電車の広告や水着姿の女性が写っているポスターなど、ちょっと気になったら、「これってどう思う?」など、家族や友人と話してみてもいいでしょう。会話の中から、それぞれ考え方や物の見方に違いがあることを知ることができ

うらやす
P Life
男女共同参画ニュース
Personality(個性・人格)を尊重する
Positive(積極的)な生活に
Plusとなる情報紙

Vol.6
2011.3

<http://www.city.urayasu.chiba.jp>

発行日 2011年3月
発行 浦安市市長公室企画政策課人権・男女共同参画係
〒279-8501 千葉県浦安市猫実1丁目1番1号
TEL 047-351-1111(内線1050) FAX 047-353-1145
Mail kikaku@city.urayasu.lg.jp

次号(2011年9月予定) | 特集「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」
女性が生涯、身体的・精神的・社会的に良好な健康状態を保ち、女性自ら生殖・出産・中絶に関わる意思決定をする権利「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」について取り上げます。

テレビコマーシャルに描かれた 女性像・男性像

—メディア・リテラシーの視点から—

普段何げなく目にしているテレビコマーシャル。関心があつて見るものもあれば、何かをしながらか聞き流すという場合もあるでしょう。そこで描かれる女性像・男性像は、時代と共に変化してきました。

洗濯洗剤を例に取ってみましょう。従来は、洗濯をしているのは女性が定番でした。真っ白に洗濯物を洗い上げ、そのできばえに満足してこぼれる笑顔。ごくありふれた日常のひとコマ描写にすぎないかもしれません。しかし、ここには、洗濯(家事)は女性の役割というメッセージが隠されているともいえます。「夫や子どものため、けなげに家事にこそしむ母・妻」のイメージは、知らず知らずのうちに、視聴者の心の中に浸透していきます。

一方、最近では、男性が洗濯物を干し、真っ白でふわふわのタオルに頬ずりをする場面が放映されています。初めてこのコマーシャルを目にした時、「おやつ?」と戸惑いを感じた方も少なくなかったのではないのでしょうか。それは、私たちの内面に根付いていた「洗濯=女性」という固定的イメージが揺さぶられ、「洗濯=男性」もありというように、発想転換のスイッチが入ったた

めかもしれません。そのほか、トイレや風呂用洗剤のコマーシャルでも、進んで掃除をする男性の姿が描かれるようになってきました。かつては女性が主役だったものに男性が登場してきたのは、「男は○○」、「女は○○」という固定的な考え方にとらわれない流れを反映しているといえるでしょう。

CM いろいろ **見慣れたテレビコマーシャルに隠されたメッセージを探せ!**

- ・ 栄養ドリンク剤 (24時間働かなくちゃならないのは、男性?)
- ・ カレーやシチューのルー (なぜか、カレーを作るのは男性が多いですね。一方、ホワイトシチューは女性?)
- ・ 風邪薬 (子どもを看病するのは女性の役割?)
- ・ 酒類 (お酌するのは、女性の役目?)

「さて、ワタシは女?男?」

その①

なのはな組の田中先生は、行き届いた気配りと明るい笑顔で保護者の間で評判。手先が器用で特技は折り紙。先生が折ったキャラクター作品は、子どもたちに大人気!



その②

脳外科医の佐々木医師は、K大学医学部を卒業後、米国に留学。その後、14年にわたり当地で研さんを積み、今春帰国。その大らかな人柄と確かな技術力で、全国の大学病院から外科部長就任のオファーが殺到している。



その③

昨日、買い物している途中でスーパーで鈴木先生と会ったけど、ベビーカーにかわいい赤ちゃんを乗せていてお元気そうだったわ。来月には、育休明けで戻られるそうよ。



(答えは右下にあります)

BOOK GUIDE



メディアリテラシーとジェンダー
構成された情報とつくられる性のイメージ

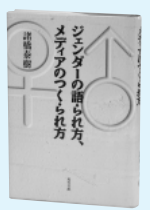
著者: 諸橋泰樹 出版社: 現代書館
発行年: 2009年

テレビ、新聞、雑誌といった身近なメディアで、情報がどのように構成され社会的な広がりを持つのか、ジェンダーの視点で読み解く。

メディア・リテラシーを学ぶ人のために

編者: 鈴木みどり 出版社: 世界思想社
発行年: 2004年

メディア・リテラシーを初めて学ぶ人のための入門書。メディア・リテラシーの定義やそれを身につけることの意味・方法についてわかりやすく解説。



ジェンダーの語られ方、メディアのつくり方

著者: 諸橋泰樹 出版社: 現代書館
発行年: 2002年

メディア情報の中で表現されている男性像、女性像はどのように作られていくのか検証、メディアによる情報は現実が「再構成」されたものであることを実例を通じて示す。

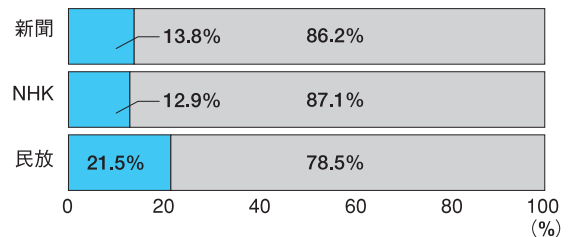
面白データチェック

メディア・リテラシー編

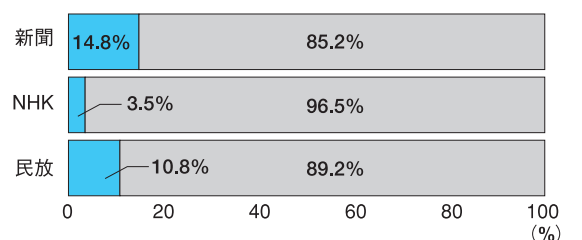
新聞や放送業界で働く女性の割合を平成21年で見ると、民間放送では21.5%、日本放送協会(NHK)12.9%、新聞13.8%。女性管理職については、それぞれ10.8%、3.5%、13.8%となっており、いずれも女性の占める割合は低くなっています。

国では「2020年までに女性管理職の割合を30%とする」という数値目標を男女共同参画基本計画(2次)で立てていますが、まだ2割にも満たない状況です。

●全従業員に占める男女の割合



●管理職に占める男女の割合



出典/平成22年版「男女共同参画白書」(内閣府)

こたえ



キーワードは、その①では「気配り」「笑顔」「手先が器用」、②では「脳外科医」「大らかな人柄」「外科部長」、③では「ベビーカー」「赤ちゃん」「育休明け」。男性をイメージするか、女性をイメージするか、家族や友人とそれぞれの人物像を出し合ってみると、面白い発見があるかも!

イラスト/しらみずさだこ

女性フロッザ 利用案内

開館/月金 8時30分~17時

(土日祝休み)

住所/浦安市猫美1-1-2

浦安市文化会館2F

TEL/047-351-1111

(内線1050)

FAX/047-353-1145

✉ kikaku@city.urayasu.jp

●図書貸出

*1人1回3冊まで、2週間貸し出ししています。

●困ったこと、悩みごとがあつたら...

「女性のための相談」(予約制)

第1~4月・火・木曜日(10時~16時)

(1ヶ月は14時30分~20時)

「女性のための法律相談」(予約制)月2回

*詳細・予約は女性フロッザまでお問い合わせください。

編集後記

情報のシャワーを浴びているかのごとく、たくさん情報の中で生活している毎日。「これって本当?」と意識して考えることが、自分自身を見失わないために大切だと実感しました。